



警察庁

National Police Agency



NATIONAL
POLICE
AGENCY



警察庁 2020



一般職 **技** 術系



採用活動の時期・手続等については、下記連絡先または各管区警察局採用担当者までお問い合わせください。



警察庁

National Police Agency

〒100-8974 東京都千代田区霞が関2-1-2
警察庁情報通信局情報通信企画課

電話：03-3581-0141(代) 内線：6032



応募資格：国家公務員採用一般職試験合格者／第一級陸上無線技術士資格保有者

警察庁は「あなた」を必要としています

後を絶たないサイバー犯罪・サイバー攻撃。
厳しさを増す国際テロ情勢。
こんな混沌とした時代だからこそ、
国民が警察に寄せる期待はこれまで以上に大きくなっています。
そして、AI、5G、自動運転等ドローン、
様々な先端技術の登場により、
技術の力なくしては、
これらの期待に応えられない時代が到来しています。
技術的な知見を、
国民の安全・安心のため、
社会秩序の維持のため、
遺憾なく発揮できるフィールドが警察庁にはあります。
理系として培った深い洞察力や論理的思考、
組織を牽引していく統率力、
不正を許さぬ正義感、
そして、豊かな人間性
を備えた「あなた」が、
警察庁の門をたたくことを期待しています。

警察庁 情報通信局長

彦坂 正人

CONTENTS

警察庁一般職技術系の魅力・役割	3・4
警察機構図	5・6
地方機関	
機動通信課	7・8
通信施設課	9・10
情報技術解析課	11・12
警察庁内部部局	
警察庁情報通信局	13・14
附属機関	
警察情報通信研究センター	15
サイバーセキュリティ対策研究・研修センター	15・16
附属警察情報通信学校	16～18
都道府県警察での活躍	19・20
他省庁等出向者	21
海外研修経験	22
研修制度	22
若手職員の日	23・24
若手職員の声	25
採用内定者の声	26
ワーク・ライフ・バランス	27
キャリア・パス	28
採用Q & A	29
各管区警察局採用窓口	30



警察庁一般職技術系の魅力・役割

警察庁には、「情報通信技術」という専門性をキャリアの軸にした、技術のプロフェッショナル集団がいます。それが、警察庁の一般職技術系職員です。警察独自の情報通信ネットワーク・情報管理システムの構築や犯罪捜査の技術支援等の業務を担い、国民の安全・安心を守る第一線警察活動に欠かせない存在となっています。

ここでは警察庁が働く場所として魅力的である理由をご紹介します。

技術のプロフェッショナル集団として。

1

一般職技術系職員は、技術のプロフェッショナル集団であり、事件、事故及び自然災害などに対し、技術力で対応するチカラが求められています。あなたの持っている理系の知見を活かせるフィールドが警察庁には必ずあります。

理系のチカラで警察にソリューションを。

2

あらゆるものがインターネットにつながるIoT時代の到来など、技術分野は変革の時期を迎えています。予測不可能な時代だからこそ、技術面で警察のあらゆる問題を解決していくことが一般職技術系職員に求められています。

多様な働き方。

3

警察庁本庁での勤務はもとより、都道府県警察や他省庁への出向などを通じて、現場で培った技術力を活かし、チャレンジ・活躍できる環境が警察庁にはあります。採用区分にとらわれず、幅広い知見をもつことは、今後のあなたを成長させ、引いては警察の未来を支えていくことにつながります。



一生の仲間と出会える質の高い充実した研修制度。

4

約3ヶ月間にわたる充実した初任研修や各種専科など、基礎的なことから専門的な分野まで、同期生と共に切磋琢磨することができる質の高い教養環境が警察庁には整っています。また、自分の専門分野以外であっても安心して学ぶことができるため、何も心配することはありません。

女性が活躍することができる職場がここにはあります。

5

女性が長く働き、活躍することができる職場が警察庁にはあります。職場環境面では、子供が3歳になるまで休業できる育児休業制度をはじめとした妊娠・出産・育児の支援に関する休暇制度も整っており、安心して子育てをしながら働くことができます。

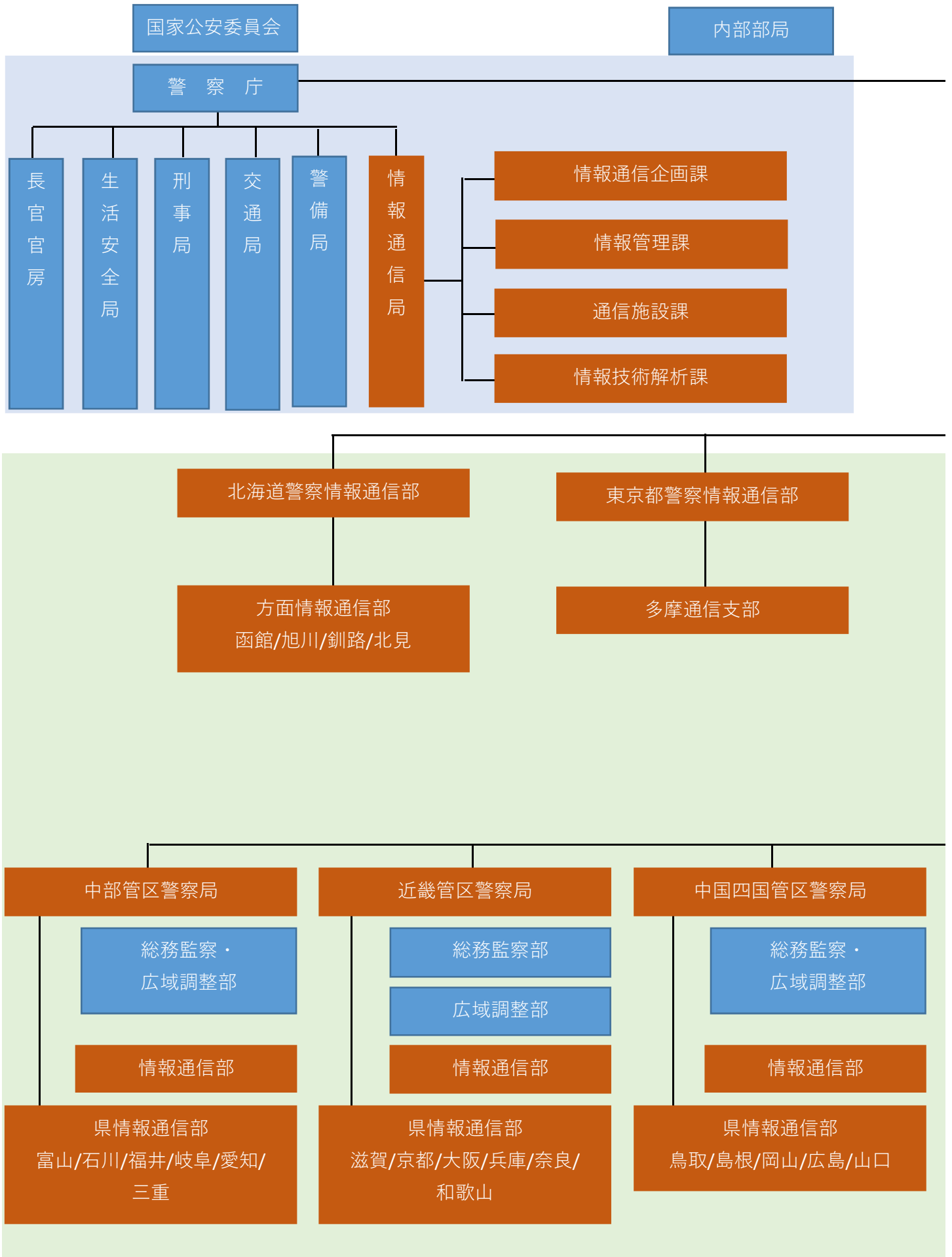
ワーク・ライフ・バランスの推進。

6

職員が仕事に打ちこむためには、職員自身のプライベートの充実も不可欠です。政府が進めている「働き方改革」はもちろんのこと、子育て、趣味など職員がワーク・ライフ・バランスを取りながら自己の能力を最大限に発揮できるよう、職場として後押ししています。

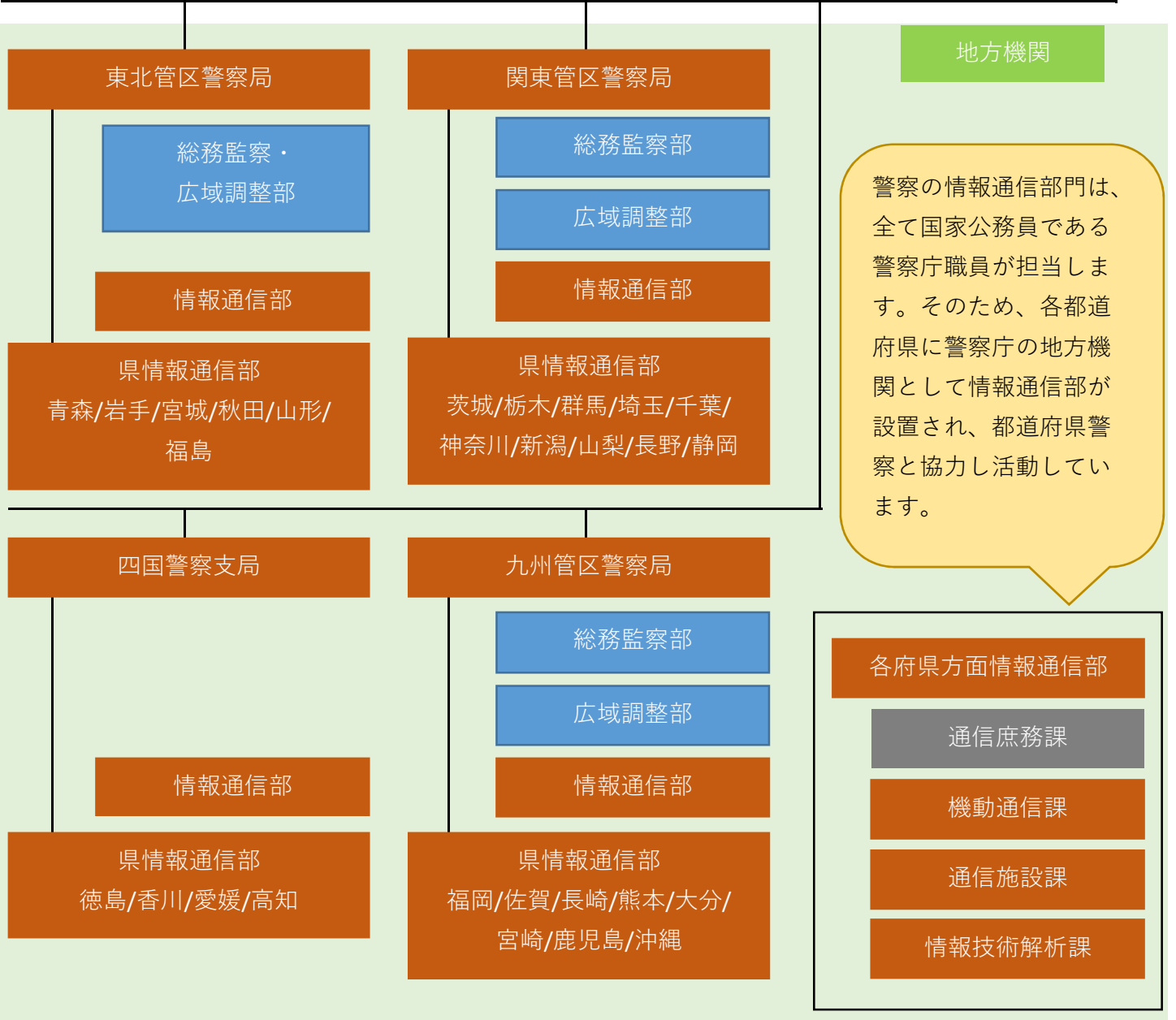
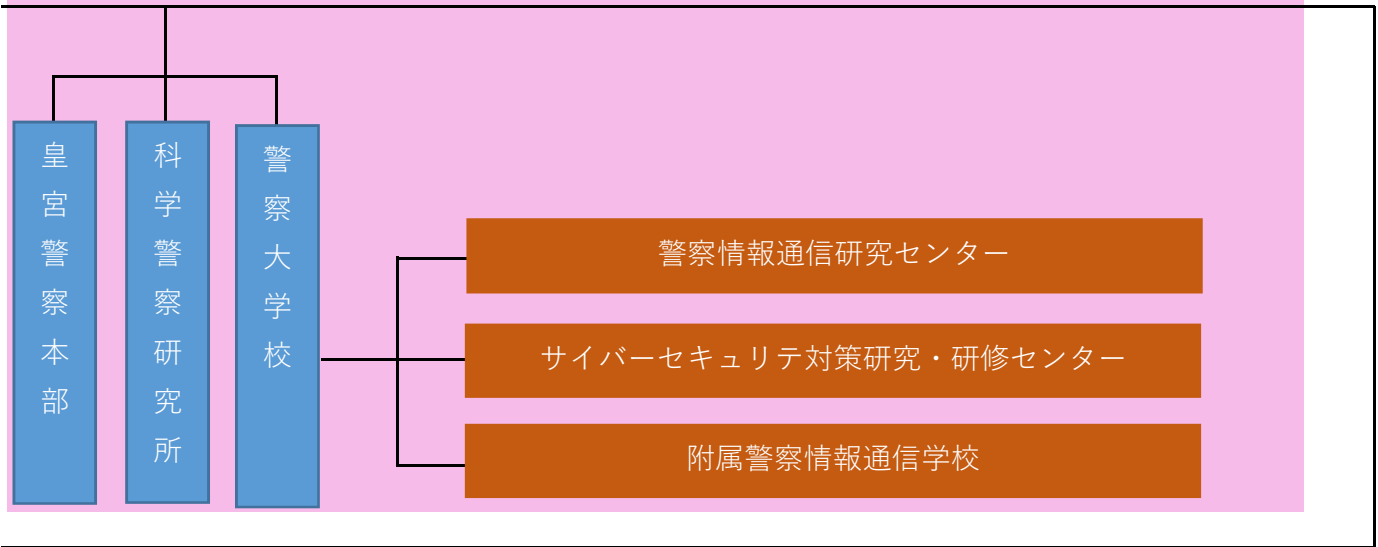


警察機構図



が情報通信に関する組織

附属機関



機動通信課

警察活動においては、あらゆる事件、事故、災害等に迅速かつ的確に対応するため、指揮、報告、連絡等に用いる情報伝達手段が不可欠であり、無線機等の通信機器や無線中継所の通信施設は「警察の神経系統」として大きな役割を果たしています。

機動通信課では、これらの通信機器・通信施設が常に万全の機能を発揮できるように、平素から点検、調整、監視といった維持管理業務に当たるとともに、災害や障害等の発生に備え、想定外の事態でも対処できるように実戦的な訓練を繰り返し行っています。

実際に事案が発生した場合は、情報通信部の職員で構成する機動警察通信隊が直ちに出勤し、現場の状況を撮影して警察本部へ映像を伝送したり、現場活動を行う警察官の通信の確保を行います。

このほか、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のような一大イベントが開催される際には、大規模な警備が行われますので、警備が円滑に実施できるよう必要となる通信の確保を行います。



警察官が安心して

現場活動できるように

関東管区警察局
茨城県情報通信部
機動通信課 係長

平成9年入庁



My Private Time

仕事から帰宅すると、私に気づいて無邪気に喜ぶ娘に癒やされ、娘が眠った後は日中の娘の様子を妻と会話して過ごす夫婦の時間を楽しんでいます。休日は、家族3人で買い物に出かけたり公園で散歩するのが何よりの時間です。

●業務紹介

私は現在、警察移動通信システムや無線中継所といった各種無線システムの保全業務を担当しています。無線通信は警察活動を支える重要なシステムなので、普段から各機器が正常に動作しているのか点検し、警察官が安心して現場活動に専念できるよう機能維持に努めています。

●業務をする上で心掛けていること

私たち職員は技術職であり、専門的な知識や技術の修得に努めるのは当たり前のことだと思っています。警察で使用する通信機器にはいろいろな機能や使い方があるので現場の警察官からよく質問されることがあるのですが、専門的な用語を使ってしまうと相手に正しく伝わらないこともあるので、専門用語を使わずにわかりやすい説明をするように心掛けています。

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

警察庁における一般職技術系職員は、採用されてからでも技術を学ぶ機会に恵まれています。警察庁で使用している情報通信機器は専門性の高い機器が多いですが、組織として充実した研修制度があるので、技術関係が未経験の方でも安心してスキルアップしていくことが出来ます。私が担当する無線設備の他にも、電話交換機や映像、ネットワーク機器など警察庁では様々な情報通信機器を使用しています。技術に興味がある方は、第一線警察活動を支える警察職員として私たちと一緒に働いてみませんか。



迅速かつ的確に対応

東京都警察情報通信部

機動通信課第二課 主任

平成27年入庁

●業務紹介

私は現在、機動通信第二課において様々なシステムの保全を担当しています。その中の多くは捜査等で必要となるデータを扱っているシステムであり、警察活動に必要不可欠なものです。これらのシステムに不具合があると警察活動に影響を与える可能性があるため、迅速にかつ的確に対応します。また、未然に防ぐために日々の点検を行っています。

●業務をする上で心掛けていること

業務に迅速に対応すること、正確な情報の収集・作業、そして係内で情報共有をすることを心掛けています。また、機器の故障が発生した場合に即座に対応できるよう、情報収集を行ったり、機器やシステムについての知識を習得するよう常に向上心を持って取り組んでいます。

●現在の業務で一番大変だったこと

警察と聞くと、堅いイメージを持つ人が多いかもしれませんが、私も入庁前はそう考えており不安でしたが、実際には和気あいあいとした職場です。また、幅広い知識が求められるため大変なこともあります。協力しながら業務を行うので働きやすい環境だと思います。また、最近は女性職員が増えてきていることもあり、女性の方にとっても働きやすい環境になっています。

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

充実した研修制度により専門的な知識・技術を身に付けることができること、そして様々な業務を経験できることが一般職技術系職員の魅力であると思います。また、技術のプロフェッショナルとして自分の能力や技術を生かし、国民の安全・安心を守る警察活動に貢献できるため、大きなやりがいを感じられます。皆さんもぜひ一般職技術系員を志望してみてください。



My Private Time

写真を撮ることが好きなのでカメラを持って観光地へ出かけたりします。ワークライフバランスを推進していることもあり比較的休暇を取りやすいため、その休暇を趣味に費やすことで気分転換になり、効率よく業務を行えていると感じています。

通信施設課

いつどこで発生するかわからない事件、事故、災害等に的確に対応するため、警察では全国を網羅する通信網が構築されており、現場警察官の指揮命令や報告連絡等に活用されています。

通信施設課では、このような通信網を実現する警察通信施設の整備を行っています。整備に当たっては、耐災害性、利便性、コスト等を考え、警察にとって最適な技術を導入することが求められており、先端技術情報の収集や、関係省庁、民間事業者等との連携が欠かせません。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは、多数の人が集まる公共交通機関等のいわゆる「ソフト・ターゲット」を狙ったテロが危惧されており、かつてない規模の警備体制が予想されています。このような大規模警備の「神経系統」を整備する通信施設課の責務は、ますます重要なものとなっています。



機器の性能を 最大限発揮させる

中国四国管区警察局

四国警察支局

徳島県情報通信部

通信施設課 係長

平成9年入庁



My Private Time

週末を有意義に過ごすことがリフレッシュに有効です。私は、日々規則正しい生活を心がけ、週末にはジョギングで汗を流してウィークデイとは違うリズムに身をおくことで、心身をリフレッシュさせています。

●業務紹介

私が現在担当している業務は、警察無線等の警察活動に必要な通信機器を整備することです。システムごとに異なった機器をどのように設置すれば性能を最大限に発揮できるのか、また、警察活動にとって使いやすい通信機器はどのようなものかを念頭に業務を行っています。

●業務をする上で心掛けていること

業務を円滑に行うためには、事前準備が非常に大切です。よって、円滑にできたこと、配慮が足りなかったことを、一つ一つ記憶と記録に残して、次の業務に生かせるように心掛けています。

●現在の業務で一番大変だったこと

採用されてから初めて通信施設課に配属され、求められる知識を一から学びながら業務を推進しています。内容によっては、思うように業務が進まないこともあり、じれったいところではありますが、日々、業務経験を積み重ね、知識を増すことで円滑に業務を進めることができるよう頑張っています。

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

一般職技術系職員は、時代に合った技術力を常に求められるため少し特殊かもしれません。しかし、自分が学んできた技術力を生かした仕事ができることは、やりがいがあり魅力もあります。また、先輩方が蓄積してきた技術を踏まえ、かつ、日進月歩する技術を取り込みながら業務を進められるところも大変魅力的です。国民が安全に暮らせる社会を築く上で欠かせない業務の一翼を担える一般職技術系職員をぜひ志望してみてください。きっとあなたが活躍できるフィールドが必ずあります。



「世の中の動き」に 目を向ける

東北管区警察局
宮城県情報通信部
通信施設課 主任

平成28年入庁

●業務紹介

私が担当している係では、主に無線通信施設の整備に関する業務を行っています。具体的には施設整備の条件を整理、検討し仕様書を作成します。仕様書をもとに業者に工事を委託し、工事完成までの監督も行います。その他に長期的な整備計画の検討など、業務は多岐にわたります。将来、何が必要なのか要望の把握に努めると共に、災害の発生や政治経済の動向に影響を受ける業務もあるため、「世の中の動き」に目を向けるようにしています。

●業務をする上で心掛けていること

「相手の立場に立って考え、行動すること」を心掛けています。通信施設課の業務は、通信庶務課や機動通信課、県警察のほか、関係省庁や民間事業者等をはじめとした他機関と綿密に調整・連携し進める仕事がほとんどであり、円滑な業務推進において相手の立場を尊重することは大切なことだと考えています。また、通信機器を整備する際には、運用者が扱いやすく、保守担当者が保守しやすい設備であるかを考慮するよう努めています。

●一般職技術系職員の魅力について

「仕事を通じて色々な経験ができること」だと思います。これまでの自身の担当業務はもちろんですが、それ以外の業務を通じて学んだことはたくさんあります。保全業務で鉄塔や鋼管柱に上ったり、警察署等の執務室内の様態替えに伴い、通信機器やケーブルの移設作業をしたり、災害発生時は機動警察通信隊活動において映像伝送を行ったり…。その時々において、遂行すべき任務や求められる技能が異なるので、完遂するのは大変ですが、業務を通じて得るものは大きいと思います。



My Private Time

現代アートが好きなので、家族旅行では、美術館や素敵なデザインの建築に立ち寄る行程を組むことが多いです。休日は絵を描いたり、ヨガをしたり、少し手の込んだ料理を作ったり...と気ままに過ごし、心と体を労わっています。

情報技術解析課

昨今では、パソコンやスマートフォンだけでなく、家電を始めとしたあらゆるものがインターネットにつながるようになっており、サイバー空間は私たちの日常生活の一部となっています。一方で、様々なWebサービスを悪用した新たなサイバー犯罪が次々と現れるほか、社会の機能を麻痺させるサイバー攻撃が世界規模で発生するなどサイバー空間における脅威は深刻な状況にあります。また、携帯電話機、パソコン等の電子機器はサイバー犯罪・サイバー攻撃のみならずあらゆる犯罪で犯罪者に悪用されています。

情報技術解析課は、多様化・高度化するサイバー犯罪・サイバー攻撃等の事件捜査や防犯対策において、都道府県警察を技術的に支援する役割を担っており、電子機器からの情報の抽出・可視化、悪用された不正プログラムの解析、発電所等の重要インフラ事業者に対するセキュリティ対策に必要な技術情報の提供等を行っています。



事件の真相解明に 必要な解析技術

北海道警察情報通信部

釧路方面情報通信部

情報技術解析課 係長

平成22年入庁



My Private Time

休日は子供と一緒に動物園に出かけたり、公園で遊んだりしています。子供の成長を見ることは何よりのリフレッシュになります。休暇も取りやすいため、年に数回旅行に出かけて家族の思い出を作っています。

●業務紹介

私が現在行っている業務は、スマートフォンやパソコンから事件の証拠となるデータを解析するデジタルフォレンジックです。また、管内の自治体や企業等に対してセキュリティセミナーを行い、サイバー空間における脅威について注意喚起を行っています。

●業務をする上で心掛けていること

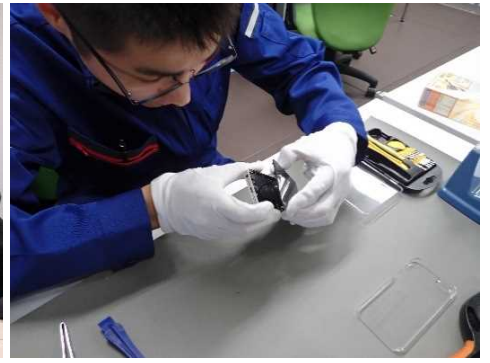
デジタルフォレンジックの世界は日々進歩しており、最新の技術動向などを収集し整理することが重要です。将来どのような技術が必要とされてくるか、IT分野だけでなく様々な社会情勢にも目を向けて情報収集するように心掛けています。

●現在の業務で一番達成感があったこと

大規模な事件捜査の際に、捜査員と共に真相解明に向けて解析を行ったことです。時には深夜に及ぶ作業もありますが、上司や同僚と支え合い組織一体となって解析作業を行います。自分の行った仕事が事件解決の一助となった時にはとても大きな達成感を味わえます。

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

一般職技術系職員は、国民の生活を技術の力で守ることが責務です。警察活動の最前線において情報通信の技術力を発揮して平和を守る一翼を担います。また全国組織なので、日本中に仲間がいて互いに助け合える点も魅力の一つです。現在の社会は、スマートフォン等によっていつでもインターネットにアクセスし、世界中の人と簡単につながることが出来ます。それによって新しい技術やサービスが日々生み出されていますが、その反面これまでになかった新しい犯罪も起きています。私たちと一緒に、あなたの持つ知識や技術を国民の安全・安心のために役立ててみませんか。



最新の技術動向を把握

中部管区警察局情報通信部
情報技術解析課 係員

平成28年入庁



My Private Time

プライベートでもコンピュータを組んだりソフトウェアを書いたりしています。ただ、普段の仕事で手元のコンピュータを相手にしているので、休日はドライブに出かけるなどして普段の視点と気分を変えるようにしています。

●業務紹介

私は現在、管区内の各県情報通信部情報技術解析課に対して技術的な支援や指導を行っており、県情報通信部だけでは県警察への要請に対応できない場合には、現場に赴き電磁的記録の解析等を実施しています。このほか警察学校において技術担当職員を対象とした教養も担当しています。

●業務をする上で心掛けていること

各県からの質問等に対しては、回答に間違いがないように関係する通達や訓令をよく確認しながら業務を進めています。情報技術解析課が扱う技術や電子デバイスは毎年新しいものが登場するので、最新の技術動向を把握するように努めています。また、大きな事件やサイバー攻撃情勢は業務に関わってくることがあり、技術知識だけではなく世間一般のニュースにも気を配っています。

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

一般職技術系職員は都道府県警察や警察庁本庁等への出向を含めると非常に豊富な業務に携わることができます。学びたいことを学ぶ機会や、自身の強みを活かす機会は確実にあるはずです。警察の情報通信システムは専門的なものが数多くありますが、最初から知っている職員はいませんから、スタートラインは皆同じです。採用年度の総合的な研修を初めとして、それぞれの情報通信システムに特化した研修制度も充実しているので、皆さんも安心して学ぶことができます。ぜひこの充実した制度のもとで皆さんも働いてみませんか？

警察庁内部部局

円滑な警察活動が 行えるように

警察庁 情報通信局
情報通信企画課 通信運用室
主任

平成25年入庁



●業務紹介

私は現在、警察庁本庁で警察官が使用する無線機等の警察通信システムの運用や管理方法の策定を行い、円滑に警察活動が行えるよう、警察官に対して教養を行う業務を担当しています。また、事件・事故等に対する捜査支援や、災害現場における情報通信対策等のために出動する機動警察通信隊に対し、通信機器の設置や運用方法等について指導を行っています。

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

私は、民間企業から転職して現在の職場で働いています。自分の持っている技術を活かして社会に貢献ができ、大変やりがいのある仕事です。入庁後、研修機関で業務に必要な知識を学ぶ制度があり、配属後は上司や周りの職員のサポートもあるので安心して働けます。また、研修制度以外に、育児支援制度もあるので仕事と育児を両立することができます。この仕事に興味を持たれた皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

斬新でユニークな アイデアを

警察庁 情報通信局
情報管理課 係員

平成28年入庁



●業務紹介

私は現在、警察情報システムに関する企画業務や、電子政府に関する警察庁としての窓口を担当しています。現在は、政府の決定に基づく警察情報管理システムの合理化・高度化に向けたプロジェクトに携わっています。

●現在の業務で一番印象に残っていること

国際機関における会議に出席した際に、各国の警察情報システム担当者と意見交換をする場がありました。国の事情は様々ですが、システム整備に関しては同じような悩みを抱えていることが印象的でした。国境を越えたつながりにより、警察情報システムをより良いものにしていきたいと思いました。

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

無線の保守から情報システムのプログラミング、組織運営に係る企画まで幅広く業務があり、様々な業務の経験を通じて、自分に合った業務を見つけられます。また、自分のライフステージに合わせた業務や勤務形態を選択できることが魅力です。私は警察で技術力を活かしたいと思い、警察庁に入庁しました。現在は、警察庁本庁で現場の警察官を技術的に支えることで日本の治安維持に貢献しており、大変やりがいを感じています。堅いイメージのある警察ですが、高度化・国際化する犯罪の取締りに貢献するには、斬新でユニークなアイデアが必要です。新鮮な発想を持った皆さんが活躍されるのを楽しみにしています。

より良いシステムを 構築するために

警察庁 情報通信局
通信施設課 係長

平成17年入庁



●業務紹介

皆さんは、警察官が様々な情報通信システムを使用して活動していることをご存じでしょうか。例えば、パトカーなどから無線通話を行う無線通信システム、警察の電話網を担う電話交換システムなどがそれに当たり、通信施設課ではそれらのシステムの整備や維持管理を行っています。また、整備したシステムは経年劣化していきますので、更新を見据えて将来のシステム構想の検討を行っています。

●現在の業務で一番気を付けていること

より良いシステムを整備するためには、現在のシステムを十分に把握する必要があります。そのため、地方に出張し、実際にシステムを使用している現場の警察官の方々に対して聞き取り調査を行っています。限られた時間であるべく多くの意見を聞き取るため、事前にシステムの知識を身につけておくとともに、警察官の方々が専門的な言葉で身構えてしまうことがないように聞き方に配慮しています。

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

一般職技術系職員の仕事は、より良いシステムを整備すれば、警察活動の高度化・合理化に大きく寄与できます。システムの整備に壁はつきものですが、それを乗り越えた先に大きな成果が得られ、世の中の安全・安心に貢献できるところが魅力です。採用されてすぐに専門的な知識が必要なのではと不安を感じる人もいますが、研修制度が充実しており、確実に知識を身につけることができます。是非、やる気のある皆さんをお待ちしています。

サイバー攻撃の 予兆を逃さない

警察庁 情報通信局
情報技術解析課 係員

平成28年入庁



●業務紹介

私は現在、警察庁本庁で日々増加しているサイバー攻撃について調査・分析を行い、その対策についてまとめるなど、サイバー攻撃やその予兆の把握を行っています。具体的には、全国の警察施設においてインターネットとの接続点に設置しているセンサーで観測したサイバー攻撃やその予兆を分析するとともに、事業者に対するサイバー攻撃等を認知した際には関係各所への情報提供を行うなどの活動を行っています。

●業務をする上で心掛けていること

サイバー攻撃に関する情報収集を積極的に行うことを心掛けています。情報技術は日進月歩であり、新たな技術や手法について常に関心を向け、それらを日頃の業務に役立てられないかと考えています。海外で新たに見つかった脆弱性等から国内の事業者に対するサイバー攻撃への悪用が懸念される場合は、迅速かつ正確に情報を整理する必要があるため、英語による情報収集も重要です。

警察情報通信研究センター

警察の情報通信に関する研究を行う機関として、警察大学校に警察情報通信研究センターが設置されています。同センターでは、現場のニーズ及び技術動向を踏まえつつ、警察通信、情報管理、その他警察活動に資する情報通信技術の調査・研究を行っています。

警察情報通信研究センター 基礎研究室 助手 平成29年入庁

●業務紹介

近年の防犯カメラの普及に伴い、犯罪捜査における画像の重要性は格段に増してきています。しかし、都市部等では、防犯カメラの設置台数が膨大であるため、その精査作業に多大な労力がかかっています。そこで、私は現在、画像中の物体の自動検出技術を用いた防犯カメラ画像等の効率的な精査手法について研究しています。

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

一般職技術系職員の仕事について、魅力に感じるだけでなく、疑問や不安に思うこともあるかと思えます。興味がある方は、是非、採用説明会や官庁訪問において、遠慮なく質問をぶつけて、疑問や不安を解消してください。しっかり情報収集した上で、皆さんが自分にとって1番の選択をすることを願っています。

警察情報通信研究センター 応用第一研究室 助手 平成29年入庁

●業務紹介

私は現在、ドローンの検知に係る研究をしています。この研究にはドローンの技術だけでなく、航空法や電波法等の法律、社会情勢等様々な知識が必要であり、日々勉強しながら業務を行っています。

●業務をする上で心掛けていること

研究対象であるドローンの発展は著しく、新しい機能、規則等もどんどん出てくるため、情報を日々入手するように心がけています。また、業務の締切日や予定が分かった段階でスケジューラーに登録し、スケジュールを管理し業務の抜けが無いようにしています。

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

一般職技術系職員の魅力は間接的ではありますが、自分の技術力を生かして国や国民の安全に貢献できることだと思います。また、ユーザーが警察職員の方なので要望等を直接取り入れやすく、要望に応えてお礼を言ってくださった時の充実感や達成感は格別なものです。皆さんの中には情報通信分野を元々勉強している方は多くないかもしれませんが、しかし、採用後の研修制度が充実しており、基礎から学ぶことができるので、一切心配はいりません。また、私みたいに研究の分野に携わることも十分可能です。皆さんと一緒に仕事ができる日を心から楽しみにしています。

サイバーセキュリティ対策研究・研修センター

サイバーセキュリティ対策研究・研修センターは、犯罪の取締りのための情報技術の解析に関する研究やサイバー空間への警察全体の対処能力向上に係る研修を行う機関として、警察大学校に設置されています。同センターは、解析研究室と捜査研修室の2室で構成されており、この2室が相互に連携しながら、サイバー犯罪・サイバー攻撃に悪用され得る最先端の情報通信技術に関する研究や各種電子機器等の解析手法の確立に向けた研究を行うとともに、サイバー犯罪捜査やサイバー攻撃捜査に従事する捜査員をはじめとする全部門の捜査員等を対象に、実事例を想定した実習等サイバー空間の最新の情勢を踏まえた高度かつ実践的な研修を行っています。

●業務紹介

私達の研究チームでは電子機器からのデータ抽出を目的とした研究を行っています。データ抽出を行うためには、データが記録されている記録媒体の特定や、その記録媒体に沿った手法で抽出を行う必要があります。抽出したデータは、犯罪捜査や立証に役立つ可能性があるため、日々抽出方法確立のため調査、研究を行っています。

●現在の業務で一番苦労したこと

現在行っている研究では、電子機器からのデータ抽出を対象にしていますが、全ての電子機器が同じような構造や性能を有しているわけではありません。データを保存している記録媒体の種類、保存しているデータの構造、保存件数などメーカーや型式によって違いがあります。その違いを発見し理解することが重要であると共に、苦労したことです。

●業務紹介

私の所属では、専門的知識を有しサイバー犯罪捜査等に従事する全国の警察職員に対し、サイバー空間における脅威への対処能力をより向上させるため、犯罪捜査に係る高度な専門的知識及び技術に関する実践的な研修を実施しています。私は、教官として主に技術に係る座学や実習等の授業を通じて、第一線の捜査活動に貢献しています。

●業務をする上で心掛けていること

情報通信技術を悪用するサイバー犯罪の手口は複雑化・巧妙化を続けており、その被害は国内・国外を問わず広範囲に渡っています。警察としてこのような脅威に立ち向かうには、常日頃から犯罪捜査の観点で最新のサイバー空間情勢や技術動向を把握し、知識及び技術力を有しておくことが必要不可欠です。したがって、私は情報通信技術の分野において変化するスピードに遅れをとらないように、日々サイバーセキュリティに関するニュース等から情報収集することにより、幅広く最新の知識を取得するように努め、より効果的な研修の実施を検討しています。

附属警察情報通信学校

警察の情報通信に関する教育訓練を行う機関として、警察大学校に附属警察情報通信学校が設置されています。同学校では、新たに採用した職員に対する初任教養と、昇任時における幹部教養を行っているほか、警察情報通信施設の維持管理・運用やサイバー犯罪等の捜査を支援する上で必要となる専門技術に関する教養を行っています。

通信職員養成科

採用されると間もなく附属警察情報通信学校に入校し、全国各地で採用された同期とともに、約3か月間、警察職員として仕事をしていく上で必要となる知識や技能について学びます。

入校中は寮生活になります。長期間の団体生活を心配される方もあるかもしれませんが、全て個室なのでプライバシーの心配は無用です。また、校内には食堂や大浴場のほか、コンビニエンスストアや集会場もありますので、快適に過ごすことができます。

授業は1日5時限（1時限は80分）で、経験豊富な教官たちが行います。情報通信に関する知識が無い人でも修得できるように、座学のほか、業務で実際に使用する機器を用いた実習を多く取り入れて丁寧に行いますので、安心して学ぶことができます。

朝6時30分の起床から23時00分の消灯にいたるまで、規則正しい生活を送ることで一般職技術系職員に必要な不可欠な規律意識や連帯感を高め、同期と協力しながら毎日を過ごします。

通信職員養成科一日のスケジュール

1 時 限 目：座学



各種通信システムの基礎知識及び操作方法等を学びます。

2 時 限 目：実習



実際に通信機器等に触れることで理解を深め、現場でも通用する技術力を磨きます。

3 時 限 目：グループ討議



グループ討議を通じて職務倫理等の理解を深めます。

4 時 限 目：討議発表



グループで検討したことを発表することで技術力だけでなく相手に分かりやすく伝えるプレゼンテーション能力を磨きます。

5 時 限 目：体育



スポーツを通じて基礎体力の強化を図ります。

6:30

起床

7:00

朝食

8:30

ホーム

9:00

1 時 限 目

10:30

2 時 限 目

11:50

休憩
昼食

12:50

3 時 限 目

14:20

4 時 限 目

15:50

5 時 限 目

17:15

入浴・自由時間

22:30

点呼

23:00

消灯



※記載されている授業は一例です。

●情報管理教養部

警察情報管理システムに関する業務に従事する職員を対象に、警察情報管理業務の運営、情報セキュリティ、情報システムの開発等に関する研修を行っています。基礎課程では、業務で必要となる各種サーバやネットワークの構築に係る技術、データベースやプログラミング等についての基礎的な研修を、応用課程では、ネットワーク障害対応訓練、データベース設計、Webアプリケーション開発実習等の専門的な研修を行っており、情報管理部門の業務に必要な知識・技能を修得できます。

●通信技術教養部

警察通信システムに関する業務に従事する職員を対象に、各種警察通信システムの維持管理に関する研修を行っています。課程では、基幹IPネットワーク、デジタル無線、多重無線、交換機等、担当業務に応じた専門分野についての基礎的な教養を実施しており、通信システムの維持管理に必要な知識・技能を修得できます。主に採用3年目までの職員を対象としていますが、配置換え等により対象システムについて十分な経験のない職員、技術力の更なる向上を目指す職員なども対象としています。

●応用技術教養部

機動警察通信隊員に指名されている職員を対象に、警衛警備や大規模災害等に対処するために必要となる通信技術等に関する研修を行っています。課程では、あらゆる事案現場を想定した通信手段の確保、ビデオカメラなどを用いた映像撮影技術、衛星通信回線や基幹IPネットワーク等を活用した映像伝送技術や各種無線機の運用に必要な知識・技能を修得できます。また、信号機の制御にかかる交通管制、通信施設整備工事を行う際に必要な仕様書作成や高所作業時における安全確保のための研修も行っています。

●情報技術解析教養部

情報技術解析業務に従事している職員を対象に、サイバー犯罪やサイバー攻撃事案に対処するために必要となる解析技術等に関する研修を行っています。基礎課程では、捜査手続き、電磁的記録・ログの解析技術、ネットワーク関連技術等に関する研修について、実習を多く取り入れ実践的な内容として行っており、業務を主体的に行うために必要な知識や技能を修得できます。また、応用課程では、より高度で専門的な知識や技能の修得も可能です。

附属警察情報通信学校 通信技術教養部 主任教授 平成21年入庁

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

一般職技術系職員は、高校や大学では学んでこなかったことが仕事のメインとなることも多々あるので新鮮な気持ちで業務ができます。また、各システムは何年か毎に更新され、新しい技術も取り入れられるため日々の業務が勉強になります。希望すれば情報通信分野の研究や教養を担当することもあり、技術に触れる機会が多いことが魅力だと思います。学校で習ったことのない分野だから自分で勤まるか不安だと感じている方もいると思います。しかし、警察情報通信学校や、日々の業務においても分からないことを教わる機会はたくさんあります。警察の情報通信に少しでも興味を持ったのであれば「できないかもしれない」と自分の中の選択肢を狭めるのではなく、「どんな分野でもやってやろうじゃないか」とチャレンジ精神を持ち、一般職技術系職員として採用され、一緒に勤務できることを楽しみにしています。



都道府県警察での活躍

高知県警察本部
警務部 情報管理課
課長補佐
平成15年入庁



●業務紹介

私は現在、高知県警察本部の情報管理課という部署に出向し、情報セキュリティに関する業務を担当しています。具体的には、情報を守るためのルール作りから始まり、それらが第一線の警察官まで浸透するように、説明用の資料を作ったり、警察学校で授業をしたりするなど、日々の業務はデスクワークに限られず、時には警察署を巡回して、セキュリティに問題がないか点検して回ることもあります。

●業務をする上で心掛けていること

郷に入れば郷に従えとはよく言いますが、各県警察には、それぞれの実情があると思っています。セキュリティ上のルールなどを一方的に押しつけるのではなく、実態をしっかりと捉えて、ルールが形骸化したりすることのないように進めていくことを心掛けています。

●職場の雰囲気について

高知県警の人たちは、基本的におおらかで、とても話しやすい職場だと思っています。言わば余所者の私に対しても、分け隔てなく接していただき、寧ろとても気にかけていただいているようにさえ感じます。個人的な話として、出向直前に第3子が産まれるという家庭事情もあったのですが、職場の理解もあり、ワークライフバランスができています。

新潟県警察本部
刑事部 捜査第一課
係長
平成26年入庁



●業務紹介

私は現在、身の代金目的誘拐事件や立てこもり事件などの特殊事件捜査において活用する無線通信機器や情報通信装備資機材の管理・保守・開発を担当しています。事件が発生した際には、有線・無線通信網の確立、特殊捜査用情報通信システムの立ち上げを迅速に行う必要がありますので、日頃からこれらの資機材の点検、修理及び改善を行うとともに、事案発生時に備えて訓練を重ねています。

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

都道府県警察に出向すると事件捜査に直接関わることができるので、無線通信機器や情報通信装備資機材が実際にどのように活用されているのか直接知ることができます。また、捜査員の方の意見・要望を受けるなかで、捜査において何が必要とされているのかを改めて実感することができるので、大変勉強になります。一般職技術系職員には非常に幅広い分野の業務があり、みなさんが今まで培ってきた知識・経験を生かすことができる環境が整っています。無線・ITの知識が無くとも充実した研修制度と自分次第でいくらかでもスキルアップすることができます。自分の技術を国民の安全な生活を守るために生かしていきたいという熱い思いを持っている方、一緒に働ける日を楽しみにしています。

京都府警察本部
生活安全部
サイバー犯罪対策課
係長
平成15年入庁

●業務紹介

私は現在、主に技術的な側面からサイバー犯罪対策等に取り組んでいます。具体的には、サイバー犯罪対策に関する新技術の調査・研究や、押収した各種ログの精査、不正なプログラム等に関する動作確認等といったサイバー犯罪の取締りのための技術支援を行っています。

●現在の業務で一番驚いたこと

サイバー犯罪対策課に出向して一番驚いたことは、府民からの相談の多さです。私もそうですが、やはり府民は「困ったときには警察に相談すれば何とかしてくれる！」と思っています。社会の安全・安心のために、これからも頼りにされる警察であり続ける必要があると改めて感じました。

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

都道府県警察への出向の一番の魅力は、出向を通して人脈を広げることができるということです。サイバー犯罪には捜査部門と情報通信部門の連携が必要不可欠であり、人脈を広げることで今後の業務をスムーズに進めることができます。現在、インターネットは国民の生活から切り離すことのできない重要なインフラ基盤であり、その治安を守り国民の安全な暮らしに貢献していくことは非常にやりがいのある仕事です。あなたの情報通信の知識を犯罪捜査等に活かし、国民の安全・安心を守るためにぜひ一緒に働きましょう。

警視庁
交通部 交通管制課
係長
平成6年入庁

●業務紹介

私は現在、自動運転の実証実験のため、信号機から無線機を介して自動運転に必要な情報を提供するための交通環境構や道路管理者との交通情報の相互利用に関する協議、ITSを活用した交通環境の整備を関係機関と調整を図りつつ業務を行っています。また、交通管制業務で無線局が必要なものを情報通信部に対して無線申請を依頼する業務も行っています。

●業務をする上で心掛けていること

出向先で業務を確実に進めることは当たり前のことながら、出向先の警察で求められていることを把握し、情報通信部門の職員の時代に培った能力を発揮し、求められることに対して答えを導けるように心掛けています。

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

都道府県警察での勤務は、国民の安全安心の確保に尽力している組織の一員として、今まで以上に責任感を感じながら勤務をしています。交通業務であれば、交通事故削減や渋滞解消に向け、様々な視点から警察業務にあたることで、今後、情報通信部門で仕事をしていくうえで良い経験ができていますと実感しています。一般職技術系職員は、私のように警察官という身分で警察業務に携わり、活躍できる場が少なくありません。私の勤務している交通部門は、交通の安全と円滑を保つことでその都市や町で生活している方々のお役に立つことができる身近な部門の一つだと思います。入庁後に様々なスキルを身につけ、いろいろな分野で警察業務を支えることができる醍醐味をぜひ味わってください。皆さんと一緒に働ける日を心よりお待ちしております。



他省庁出向者

内閣官房 情報通信技術総合戦略室 平成21年入庁

●業務紹介

内閣官房情報通信技術総合戦略室（IT室）は、閣議決定文書「世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」の取りまとめ業務や、同文書に記載された各府省庁のIT関係施策の推進業務等を行っています。私が在籍しているプロジェクト班では、特にデジタル技術の社会実装に関する施策について、各府省庁の進捗の確認やフォローアップなどを行っています。

●業務をする上で心掛けていること

IT室のプロジェクト班として、警察庁をはじめ複数の府省庁の施策を推進していますが、一人の室員が複数の府省庁を担当していることもあります。それぞれの室員がそれぞれ行動して仕事を進めていく部分が多々あることから、班内の情報共有を細かく行うように心掛けています。

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

IT室の室員は、半数が各府省庁からの出向者ですが、残りの半数は民間企業からの出向者であり、国の組織の中でも非常に珍しい組織体となっています。他官庁の人と仕事をするという経験は、出向でなければできない経験ですが、特にIT室への出向は、民間企業の人と仕事をするという貴重な経験ができます。この経験により物事の考え方や知見を広められることが、出向の魅力だと感じています。勤務先の方々は、他官庁出身・民間出身に関わらず、警察に憧れや期待を持たれている方が多くおり、警察庁は注目度の高い官庁だと感じています。一般職技術系職員が活躍できる場はたくさんありますので、少しでも興味がある方は、ぜひ、警察庁を訪れてみてください。

NTTコミュニケーションズ株式会社（官民人事交流派遣） 平成10年入庁

●業務紹介

私は現在、官民人事交流制度により、NTTコミュニケーションズ株式会社の社員として勤務しています。同社では、社内のサイバーセキュリティ対策を担うCSIRTチームの一員として、重要な情報が保存されたシステムに対するサイバー攻撃を未然に防止するためセキュリティ対策を考案や、サイバー攻撃の発生を早期に察知し被害を最小化するための調査等を行っています。

●出向の魅力について

これまでに考えたこともない物の見方や業務の進め方を実体験するとともに、民間の目線というこれまでとは全く違う方向から警察の活動を眺めることができたことで、自らが大きく成長していると実感しています。また、行政の考え方を民間の第一線の方々に直接伝えることもできますので、お互いに理解し合い成長できることが魅力です。

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

私たち一般職技術系職員は、日々発展を続ける情報通信の技術と現場の警察官との架け橋となることで国民生活の安全と安心を守るという、とてもやりがいのある仕事です。時には人の命に関わるような責任の重い仕事もありますが、その分成し遂げた時の達成感もひとしおです。「人の役に立ちたい」という方、あなたの技術的知見を生かしてみませんか。

海外研修経験

警察庁 情報通信局 情報技術解析課 主任 平成22年入庁

●研究内容

私は現在、英国サウスウェールズ大学の大学院にて、サイバーセキュリティ及びデジタルフォレンジックの観点から人工知能に関連する調査研究を行っています。また、大学の講義を通じて調査研究に必要となる分野についても幅広く学んでおります。

●研究をする上で心掛けていること

最新の技術情報には常に着目するようにしています。特に大学院ではいろんな文献を読むことができますし、時にはサイバーセキュリティのカンファレンスに参加する機会もあります。必ずしも直接私の研究テーマに結びつく情報とは限りませんが、研究する上での背景知識として積極的に情報収集するよう努めています。

●現在の研究で苦労していること

講義では馴染みのない専門用語やフレーズが使われますし、細かなニュアンスをしっかりと理解しなければならぬので、予習・復習は欠かせません。また、課題が与えられると膨大な量の文献を調査しなくてはならず、1日の大半を図書館かコンピュータラボで過ごしています。

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

私たちは第一線の警察活動を技術的に支えるために業務を行っています。技術の進歩は著しく、我々の業務もそれに応じて対応していかなくてはなりません。簡単なことではありません。一般職技術系職員と言えども海外での研究も含め、常に新しいこと学び続けるという姿勢が求められています。こういう学びの姿勢が将来の事件解決につながったり、ひいては社会の貢献に結びついていくのだと思います。皆さんも技術力で社会に貢献してみませんか。

研修制度

1 初任教養 おおむね1か月間

警視庁警察学校・道府県警察学校の一般職初任科に入校し、警察職員として必要な基本的知識及び自覚を身に付けることを目的とした研修を受けます。

2 初任研修 おおむね3週間から1か月間

所属する北海道警察情報通信部、東京都警察情報通信部及び府県(方面)情報通信部において、通信職員養成科(技術初任)入校までに、業務を行ううえで必要な基本的知識及び技能について学びます。

3 通信職員養成科(技術初任) おおむね3か月間

東京都府中市にある警察情報通信学校に入校し、業務を行ううえで必要な基本的知識及び技能について研修を受けます。同じ年に全国で採用された一般職技術系職員の同期のと共に過ごすことにより、知識・技能の習得だけでなく、絆を深めることができます。

4 職場実習 通信職員養成科修了後年度末まで

所属する北海道警察情報通信部、東京都警察情報通信部及び府県(方面)情報通信部の機動通信課、通信施設課、情報技術解析課の各課において実務を行いながら研修を受けます。このとき、警察通信施設全体の一次対応及び基本的な情報技術の解析を行うのに必要な知識及び技能を身に付けます。

5 通信職員養成科(技術補習) おおむね2週間

採用年度末、警察情報通信学校に再度入校し、職務倫理及び実務に関する討議等を行い、採用時の研修の総仕上げを行います。

若手職員の1日

関東管区警察局 山梨県情報通信部 機動通信課 係員 平成30年入庁

①出勤

山梨県情報通信部の始業時間は8:30。
少し早めに出勤してメールや今日の予定を確認します。

7:40

③点検簿作成



点検結果を点検簿にまとめます。
点検結果での疑問点は係長へ相談します。

日常的に点検を行うことで、警察業務に支障が出ないように心掛けています。

9:00

10:00

11:00

⑤昼食

食堂や庁舎外などで、先輩方と楽しく会話をしながら食べる人が多いです。

12:00

13:30

⑦事故現場に出動



現場まで緊急走行で向かいます。

13:45

⑨警察本部に帰庁



機器等の片づけを行います。
次の出動に備えて入念に点検し保管します。

16:00

17:15

②機器点検



警察署の電話や無線に異常がないか確認をします。

④障害対応



警察署からの各種相談及び依頼等の問い合わせに対応します。依頼内容により出張計画を立てます。

⑥初動



幹線道路で交通事故の通報が入り出動準備をします。

⑧現場到着



通事故状況を撮影し、映像を警察本部及び警察署へ伝送します。

⑩定時退庁日

今日は定時退庁日です。その日によって退庁時間は異なりますが、報告書の作成も終わったため、今日は定時退庁します。

①出勤

今日も元気に登庁！
頑張ります！

8:00

②朝会



毎朝の朝会で業務の連絡・報告をします。

8:30

③事務処理



メールと今日の業務内容の確認を行います。

9:00

④解析作業開始



警察署から要請を受けて持ち込まれた証拠品の解析を行います。証拠品は慎重に取扱います。

10:00

⑤昼食



今日は係長と展望レストランのカレーライスいただきます。

12:00

⑥出張



急遽、警察署から支援要請！警察署へ向かいます！

13:30

⑦報告書の作成



直属の係長に報告書の作成についてアドバイスしてもらいました。

16:00

⑧課長へ報告



本日の作業結果を丁寧に報告します。

16:30

⑨退庁

17:15が終業時刻です。
買い物に行きます！

17:30

若手職員の声

国民の安心・安全を支えるインフラ業務

北海道警察情報通信部 旭川方面情報通信部
機動通信課 係員 平成30年入庁

●警察庁を選んだ理由

私は以前から人の役に立つ仕事を希望していました。学生時代に学んでいた電気電子情報系の知識を生かせる業種を中心に検討し就職活動を行う中で、人々の生活を支えるインフラ関係の仕事を希望するようになりました。その中でも、警察庁では、警察通信の維持管理や警察施設の整備、サイバー攻撃への取り組み等、幅広く国民生活の安心・安全を支えるインフラ業務を行っていることを知り、志望しました。

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

一般職技術系職員は、入庁してから一年間充実した研修期間があります。業務では幅広い知識が求められますが、この期間中に積極的に学ぶ姿勢と努力があれば多くの技術と知識を身につけることができます。自身の技術と知識で警察活動を支える仕事は、とてもやりがいがあります。国民の安心・安全を守るために、自身のスキルを上げ、生かしていきたい方、ぜひ志願してください。一緒に頑張りましょう。

技術的に支えることができるという魅力

東京都警察情報通信部
機動通信第二課 係員 平成30年入庁

●警察庁を選んだ理由

学生時代に専攻して学んだ無線通信の知識や第一級陸上無線技術士の資格を人の役に立てる仕事に活かしたいと思い、一般職技術系職員を志望しました。また、迅速な警察活動を行うために欠かせない警察情報通信を、技術的に支えることができるということに魅力を感じ、警察庁を志望しました。

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

一般職技術系職員は、情報技術解析や無線通信、多重通信、映像通信など、業務の幅が広いので、初めは不安に感じることもありました。しかし、採用されて1年目の研修期間には、警察情報通信学校で警察通信の基礎知識を座学や実習を通して学んだり、職場研修で先輩職員に付きながら実際の業務を遂行したりと、充実した研修体制となっています。警察の情報通信の仕事に興味のある方は、ぜひ一般職技術系職員を志願してください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



学校で学んだことを活かす場はここしかない

中国四国管区警察局 広島県情報通信部
機動通信課 係員 平成30年入庁

●警察庁を選んだ理由

私は学生時代、プログラミングや有線・無線通信などといった情報系の分野を専攻していました。警察庁の業務説明会で、各種業務を知り、学校で学んだことを活かすことのできる場はここしかないと思い、警察庁を志望しました。

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

私が入庁する前は専門的な知識が乏しく、技術職の業務を行えるかが不安でした。情報通信学校での授業、また上司や先輩のご指導もあり不安はなくなりました。自分と同じような悩みを抱えている人は安心して一般職技術系職員を目指してください。



令和2年度採用 内定者の声

ここでは、令和2年度の採用内定者へのアンケート結果を交えて、内定者の就職活動及び公務員試験対策に関する経験についてご紹介します！

志望したきっかけは何ですか？

- 自分の知識や技術を警察業務に活かせるから
- 警察を技術面からサポートできる仕事に興味があったから
- 学校で学んだことを活かせると思ったから

・・・etc

業務説明会の参加回数は？

- 1位 **1回**
- 2位 **2回**
- 3位 **0回**

民間企業のように何度も業務説明会に参加して自分をアピールしなきゃいけないイメージがあったけど、意外とそうでもないみたい！

民間企業のエントリー数は？

- 1位 **0社**
- 2位 **1～3社**
- 3位 **4～6社**

その企業の分野は？

- 1位 **情報通信**
- 2位 **電気**
- 3位 **機械、土木、化学**

公務員一本に絞っている方もいれば、民間企業も視野に入れて就活を行っていた方も多いようで、併願することも十分可能です！

公務員試験のための準備期間は？

- 1位 **1か月～半年未満**
- 2位 **半年以上～1年未満**
- 3位 **1年以上**

公務員試験の勉強は大変そうというイメージがありましたけど、短期間の勉強でも合格している方も多いので、ぜひ、みなさんの将来の選択肢の1つとして国家公務員試験の受験をおすすめします！

公務員試験に向けての対策の方法は？

- 1位 **公務員教材**
- 2位 **過去問**
- 3位 **予備校**

市販されている教材を用いている方が多いようです。学校の授業や民間企業の就活の隙間時間を有効に活用していけば無理なく勉強も進められそうですね！

警察庁以外の官庁訪問箇所数は？

- 1位 **0か所**
- 2位 **1か所**
- 3位 **2か所**

官庁訪問対策として何を行いましたか？

- パンフレット等を見て、質問や志望動機を固めた
 - 教材や過去の面接を振り返って、より良い伝え方をできるように練習した
 - 学校の就職相談担当者やハローワークの職員と面接練習をした
 - 先輩たちの体験談を読んだ
 - 自分のことを正確に伝えられるように整理した
 - 公務員予備校で面接トレーニングをした
- ・・・etc

ワーク・ライフ・バランス

仕事と育児の両立

東北管区警察局 山形県情報通信部 機動通信課 係員 平成30年入庁

●業務紹介

私は現在、事件、事故、火災や地震等の災害が発生した際に、いち早く現場に急行し、被害状況をカメラ撮影してリアルタイムで映像を県警本部や管区警察局へ伝送する業務を担っています。また、様々な事件や災害を想定した訓練を県警の警察職員と合同で実施し、来たる有事に備えています。

●仕事と育児の両立について

育児を支援する制度が充実しており、活用させてもらっています。おかげさまで妻の出産の際には、立会うことができ、新たな生命の誕生を目の前で感じることができました。育児に対して理解のある上司や同僚には、とても感謝しています。また、子供が産まれてから2週間育児休業を取得させていただき、育児に専念することができました。育児の大変さを経験することで、妻に対する尊敬の念と感謝の気持ちをより一層持つことができました。

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

技術系職員と聞くと非常に高度な知識や技術が必要なのではと不安になると思いますが、充実した研修制度があり、やる気さえあれば問題ありません。努力次第で誰でも、技術系のスペシャリストになることができます。また、私生活面でも子育てを支援する制度が整っており、心配はいりません。パンフレットを開いてこれを読んでいる君！興味をもったならぜひ一緒に働いてみませんか。皆さんを待ちしています。

近畿管区警察局 京都府情報通信部 通信施設課 係長 平成22年入庁

●業務紹介

私は現在、警察通信施設の整備工事を担当しています。今年度、京都府では十数年に一度の警察無線システムの大規模な更新を行っており、その整備にかかる仕様書の作成、工事発注、監督業務等を行っています。大規模なため、複数箇所と同時に工事を行うことも多く、工事日程の調整など多岐にわたりやりがいを感じています。

●仕事と育児の両立について

私には2人の息子がおり、これまで様々な支援制度を活用しました。特に出産時の育児参加休暇や子供が体調を崩した際の看護休暇等は非常に助かりました。男性でも育児休業ができますし、今後もさまざまな制度を有効活用し、仕事と育児の両立を図っていきたいと思います。

●一般職技術系職員を志す皆さんへ

一般職技術系職員の業務は多種多様に及んでおり、様々な知識や技術が必要となります。そう聞くと不安に思うかも知れませんが、研修制度が充実しているため、問題なく身に付けていくことが可能です。また、この職場は、子育てを支援する制度が多くあり、福利厚生も充実しているため私生活面でも安心して生活することができます。皆さんもやりがいのある仕事をしながら安心・充実した毎日を送ってみませんか。

キャリア・パス

中国四国管区警察局鳥取県情報通信部長 妹尾 光敏 昭和56年入庁

府県情報通信部は、都道府県警察とは異なる組織ですが警察本部庁舎内に拠点を設けて、都道府県警察と一体となって活動を行っています。そこに勤務する一般職技術系職員は、通信及び情報に関する幅広く高度な技術を駆使して、都道府県警察の活動を支援する「情報通信技術のプロ集団」です。その様な中で私は県情報通信部長として、各々職員のワークライフバランスを推進させることに留意し、情報通信技術のプロ集団のリーダーとして、各職員が持つ技術力を統合させ、組織力として発揮させることを常に考えています。それらにより、治安を確保し、安全で安心して暮らせる社会の実現に貢献できる、やり甲斐のある仕事であると感じています。



2020年は、オリンピック聖火リレーや大会等の本番が控え、都道府県警察は万全の態勢を整えて警備に当たります。このような警備では、情報の伝達、共有及び指揮、命令を行う警察情報通信システムをフルに機能させることが必須であり、一般職技術系職員の活躍が無くては成し得ないものであります。我々と共に、情報通信技術のプロ集団の一員に加わりませんか。警察では、あなたの知見、能力を必要としています。

平成30年 府県情報通信部長

平成29年 管区警察局 課長

平成27年 管区警察局 調査官

平成24年 府県情報通信部 課長

平成22年 警察庁 課長補佐

平成21年 警察庁 専門官

平成18年 都道府県警察出向

平成15年 管区警察局 課長補佐

平成12年 警察庁 係長

平成9年 府県情報通信部 係長

平成5年 警察庁 主任

昭和56年 入庁、警察情報通信学校入校

採用Q & A

Q 1

国家公務員一般職試験のどの試験区分から採用するのですか？

A

大卒程度試験及び高卒者試験の全ての区分から採用を行っております。各管区警察局の採用状況は、ホームページ又は採用窓口にお問い合わせください。

Q 2

一般職技術系職員の採用は、管区警察局のみで行われるのですか？

A

一般職技術系の採用は、各管区警察局、北海道警察情報通信部及び東京都警察情報通信部において行っています。どこの管区警察局に連絡していいかわからないという方は、警察庁の担当へご連絡いただいても構いません。

Q 3

国家公務員試験合格者しか採用されないのですか？

A

第一級陸上無線技術士の資格を保有する方の中から、選考により採用しています。

Q 4

採用実績を教えてください。

採用年度	国家公務員一般職試験								選考試験	計
	大卒程度							高卒者	無線資格 (一陸技)	
	電気 電子 情報	物理	機械	土木	建築	化学	農学	技術		
平成28年度	39	9	11	1	0	0	0	0	25	85
平成29年度	34	12	9	2	0	0	0	0	22	79
平成30年度	39	5	6	2	0	0	0	0	35	87
平成31年度	32	7	5	8	1	2	2	10	37	104
令和2年度	28	3	1	10	2	11	3	16	33	107

(令和2年度は、令和2年2月1日現在の内定者を表す。)

Q 5

担当する業務は、情報通信部門に限られるのですか？

A

基本的には情報通信部門に配属されますが、様々な分野において情報通信に関する知識や技術が求められており、生活安全、刑事、交通、警備といった他の分野や他省庁等での勤務など、様々な業務の経験を積むチャンスもあります。

Q 6

総合職技術系と一般職技術系の業務の内容の違いについて教えてください。

A

総合職技術系は、技術に関する専門的な知見を活かし、主に政策の企画・立案等に携わります。一方、一般職技術系は、主に地方機関において情報通信システムの整備・運用業務や捜査の技術的な支援を行うなど、専門的な知識や技術を幅広く応用し、第一線の警察活動を支える業務に従事します。

Q 7

一般職技術系には警察官のような体力が必要ですか？

A

一般職技術系は技術力で警察活動を支えています。体力にあまり自信がない方、運動が苦手な方でも大丈夫です。

Q 8

休暇について教えてください。

A

いわゆる有給休暇は、4月採用者については採用された年に15日間取得することができます。翌年からは、20日間の休暇が給付され、前年に使用せずに繰り越した分を含めて、最大40日間の休暇を取得することができます。このほか、夏季休暇、結婚に伴う休暇、忌引休暇などの特別休暇などもあります。

Q 9

異動の周期はどのくらいですか？

A

概ね3～5年程度の周期です。転居を伴うこともあれば、伴わない異動もあり、周期も含めて、状況により様々です。

Q 10

異動について自分の希望は反映されますか？

A

異動については、定期的に希望調査を実施します。異動は個人の能力向上と組織の活性化を図るために必要な事であり、入庁後一度も異動を経験しない職員はいません。多くの職員が対象となるため、必ずしも本人の希望通りになるとは限りませんが、希望調査で本人の希望や配慮すべき事項を確認するとともに、適性や能力等も十分考慮して決定されます。

各管区警察局採用窓口

○北海道警察情報通信部 通信庶務課

〒060-8520

北海道札幌市中央区北2条西7丁目

TEL：011-251-0110（内線 6032）

○近畿管区警察局 情報通信部 通信庶務課

〒540-0012

大阪府大阪市中央区谷町二丁目1番17号

TEL：06-6944-1234（内線 6032）

○東北管区警察局 情報通信部 通信庶務課

〒980-8408

宮城県仙台市青葉区本町三丁目3番1号

TEL：022-221-7181（内線 6032）

○中国四国管区警察局 情報通信部 通信庶務課

〒730-0012

広島県広島市中区上八丁堀6番30号

TEL：082-228-6411（内線 6032）

○東京都警察情報通信部 通信庶務課

〒100-8929

東京都千代田区霞が関二丁目1番1号

TEL：03-3581-4321（内線 60311）

○四国警察支部 情報通信部 通信庶務・施設課

〒760-0019

香川県高松市サンポート3番33号

TEL：087-821-3111（内線 6032）

○関東管区警察局 情報通信部 通信庶務課

〒330-9726

埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1

TEL：048-600-6000（内線 6032）

○九州管区警察局 情報通信部 通信庶務課

〒812-8573

福岡県福岡市博多区東公園7番7号

TEL：092-622-5000（内線 6032）

○中部管区警察局 情報通信部 通信庶務課

〒460-0001

愛知県名古屋市中区三の丸二丁目1番1号

TEL：052-951-6000（内線 6032）

採用に関するお問い合わせ

警察庁情報通信局情報通信企画課

〒100-8974 東京都千代田区霞が関二丁目1番2号 TEL：03-3581-0141（内線 6032）